

令和8年

經濟建設常任委員会行政視察報告書

# 1. 視察概要

日 程：令和8年3月24日（火）～25日（水）

視 察 先：千葉県鴨川市

「鴨川観光プラットフォームの運営について」

「地域資源（菜の花）を活かした観光政策の展開について」

派遣委員：木下八重子（委員長）、山口清悦（副委員長）、寄谷猛男、柴田文男、荻野仁史、荒木文一、三上裕久、関藤龍也、田村 勇、安樂良幸

介 助 員：高橋江海子（議員）

随 行：高橋 誠（議会事務局）

# 2. 視察先詳細報告

視察日時：令和8年3月25日（水）9時30分から11時30分

視察目的：観光地域づくり法人（DMO）に登録された鴨川観光プラットフォームの運営について学ぶ。また、地域資源（菜の花）を活かした観光政策の展開について学ぶ。

対 応 者：鴨川市議会 建設経済常任委員会委員長 秋山貢輔氏  
菜な畑鴨川実行委員会 実行委員長 吉田泰洋氏  
一般社団法人鴨川市観光協会 事務局長 白土雅章氏  
鴨川観光プラットフォーム株式会社 嶋津彰一氏

## 鴨川市の概要

鴨川市は、千葉県南東部に位置する市で、南房総観光圏の観光都市で、海岸部は南房総国定公園に指定されており、日蓮ゆかりの誕生寺・清澄寺の門前町として栄え、鴨川シーワールドや鴨川温泉郷で知られるリゾート地である。人口は、令和8年3月1日現在で29,282人、総面積は191.14k㎡である。

鴨川市議会には、総務常任委員会、建設経済常任委員会、文教厚生常任委員会、予算常任委員会、決算常任委員会の5常任委員会と議会運営委員会がある。

(1) 鴨川観光プラットフォームの運営について（鴨川観光プラットフォーム株式会社）

・鴨川観光プラットフォーム株式会社の嶋津彰一氏より、次のとおり説明を受けた。

地域の特性① 鴨川市の位置・地勢

地域の特性② 鴨川市の人口

地域の特性③ 鴨川市の産業構造（産業別就業者数）

地域の特性④ 鴨川市の産業構造（産業別売上高）

地域の特性⑤ 鴨川市の産業構造（産業別付加価値額）

地域の課題① 鴨川市の観光入込客数の推移（経年・直近3年月別）

地域の課題② 鴨川市の宿泊者数の推移（経年・直近3年月別）

地域DMOの設立 鴨川観光プラットフォーム株式会社の概要

(合同会社鴨川観光プラットフォームの概要)

多様な団体と連携した評議委員会制度

地域DMOの役割 鴨川観光プラットフォーム株式会社の事業概要

①情報発信

②ふるさと納税に関する事務（鴨川市からの受託事務）

③ふるさと宿泊券・観光券の発行（ふるさと納税返礼品）

④千葉県知事登録旅行業（第2種） 教育旅行、農家民泊、

⑤地域一帯となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業

事業実績 ①情報発信（カモ旅、カモ旅 plus、VisitKamogawa、SNS）

②ふるさと納税に関する事務（鴨川市からの受託事務）

③ふるさと納税（民泊返礼品）申込実績

④千葉県知事登録旅行業（第2種）取扱実績

⑤地域一帯となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業



▲訪問の挨拶を行う木下委員長



▲委員が説明を受けている様子（1）

総括： 鴨川観光プラットフォーム株式会社は、鴨川市が（一社）鴨川市観光協会等と共同出資して設立した第三セクターであり、観光地域づくり法人（DMO）の登録をしている。また、旅行業とふるさと納税に関する事務を行っており、鴨川市の観光業等に貢献している。更に、多様な団体と連携した評議委員会制度により、地域の関係者から多くの意見を伺っており、幅広い事業に携わっていることから、観光地域づくり法人（DMO）としての役割を担っている。

観光に力を入れている滝川市にとって、このような制度を活用できないか更に勉強していきたい。



▲委員が説明を受けている様子（2）

(2) 地域資源（菜の花）を活かした観光政策の展開について

- ・菜な畑鴨川実行委員会 実行委員長 吉田泰洋氏より、次のとおり説明を受けた。

鴨川市の概要

鴨川市へのアクセス

菜な畑ロード 2026 の開催概要・コンセプト・アクティビティ、2026 年の注目トピック〈幻想的な夜の花畑を魅せる夜間ライトアップ〉、イベントのメリット  
周辺観光

予算規模について

「菜な畑ロード」のPR方法について

菜の花にまつわるグッズ等について

菜の花を栽培している方のメリット等について

事業の効果について

課題について



▲ 委員が説明を受けている様子 (3)

総括 : 鴨川市は滝川市とは違い、菜の花はあくまでも鑑賞用として栽培しているとの説明があった。「ひとあし早い春」をテーマにして、JR安房鴨川駅から歩いて行ける水田に、1月上旬から3月上旬までの2ヶ月間で1万坪の菜の花を栽培しており、菜の花にまつわるグッズ等の販売も行われている。

また、周辺観光ともマッチしており、地元の鴨川シーワールド、勝浦市の「1万体の雛人形を街中に飾る勝浦ビックひな祭り」などとの相乗効果もある。

菜の花を観光資源として力を入れている滝川市にとって、集客や周辺観光との連携など参考にできるものが多くあった。

(3) 意見交換（質疑・応答）

- ・最後に意見交換を行った。



▲意見交換を行っている様子



▲お礼の挨拶を行う山口副委員長